

# 硬筆書写技能検定

硬  
準1級

試験問題

〔試験時間〕

90分

「第1問速書き」1分（黙読）+ 4分

「第2問以降」85分

〔注意事項〕

1. 受験する級の問題冊子であるか確認してください。
2. 試験監督の指示があるまで問題冊子を開かないでください。
3. 問題内容に関する質問は一切受けつけません。
4. 携帯電話等の電子機器は必ず電源を切り、絶対に使用しないでください。
5. 不正行為をした場合は、答案は無効となります。
6. 受験票と受験に必要な用具以外はすべてしまってください。
7. 下敷きは**無地のもの**を使用してください。
8. 鉛筆で字を書いた上からなぞり書きはできません。二度書きやレタリングはできません。
9. 修正液・修正テープ・消せるボールペンは使用できません。

〔試験の流れ〕

- ・第1問「速書き」は、1分間で筆記具をもたずに黙読し、その後4分間で解答します。解答には必ずボールペンを使用してください。
- ・解答終了後は第1問解答用紙を提出し、再開の指示があるまでは待機してください。

〔理論問題の筆記用具〕

- ・理論問題の解答時に使用する筆記具は自由となっています。※鉛筆・万年筆・ボールペン・サインペン・つけペンが使用できます。

## 【受験地番号・受験番号の記入】

受験地番号・受験番号は、この表紙・第1問解答用紙・第5問解答用紙・第6問解答用紙・理論解答用紙の計5箇所、**受験票に記載されている番号を正確に記入**してください。

## 【準登録（片方合格）の手続き】

準登録（片方合格）の方は、該当科目を必ず白紙で提出し、理論免除の方は理論問題解答用紙に受験地番号・受験番号のみ記入し、解答せずに白紙で提出してください。

【不許複製】

この試験問題の複製（コピー）を禁じます。また、この試験問題およびその内容を当協会の許可なく他に伝える行為や、漏えい（インターネット上に掲載することを含みます）することを固く禁じます。

## 【受験地番号・受験番号記入欄】

受験地番号	受験番号
.....	K 1 1 .....

受験地番号は左づめに記入すること。

A



**第2問**

つぎのわく内の四つの語句（8字）を、楷書・行書・草書の三体で書きなさい。  
〈つけペン・万年筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用すること。〉  
定規やものさしは使用できません。鉛筆で補助線や下書きをしてはいけません。

楷書

行書

草書

青葉
芳香
開花
季節

第 2 問
点

### 第3問

つぎのわく内の文を、左に書きなさい（漢字は行書で書くこと。平仮名は連綿で書いてもよい）。  
〈つけペン・万年筆またはボールペン・サインペンのいずれかを使用すること〉  
定期やものさしは使用できません。鉛筆で補助線や下書きをしてはいけません。

雨にぬれる公園を歩くと、紫陽花の花はまだ小さい。手毬のように丸くなり、「七化け」とも呼ばれる花色の妙を見せるのは少し先だろう。

紫陽花（あじさい） 手毬（てまり）

第 3 問
点



## 第5問

つぎの★印の……で囲んだわく内のa・b・cのうち、いずれか一つを選んで、別紙（第5問解答用紙）に縦書きで、自分の得意とする形（書体・書きぶり・布置など）で書きなさい。鉛筆で補助線や下書きをしてはいけない。なお、その場合、自由にわくの大きさや縦横の割合などを考え、鉛筆で外わくを囲った体裁のよい形に仕上げなさい。（つけペン・万年筆またはボールペン・サインペン・油性または顔料系のマーカーのいずれかを使用すること。）

a

白雪の降りてつもれる山里は  
住む人さへや思ひ消ゆらむ

(古今和歌集)

b

この世が創られた時と同じに  
光は突然人々の肩に重く輝く  
こんなにも単純なのに  
生きるということは

(谷川俊太郎)

c

江 碧 山 青	鳥 逾 花 欲 然
------------	-----------------

cの読み  
江碧にして 鳥逾々白く  
山青くして 花然えんと欲す

(杜甫)

aは、漢字を仮名に、仮名を漢字にして書いてもよく、また、適当に変体仮名をまぜて書いてもよい。和歌は現代表記によるものである。

bの漢字・仮名は、課題のとおりを書くこと。

cの漢字は、書写体にかえてもよい。

なお、作品に雅印を押ししたり、自分の名まえを書いたりしてはいけない。

文部科学省後援書写技能審査  
令和○年度第○回  
硬筆書写技能検定  
令和○年○月○日（日）実施

受験地番号			

受験地番号は左づめに記入すること。

硬筆書写技能検定 第5問解答用紙			
受験番号			第5問
K	1	1	
			点

## 第6問

つぎのわく内の掲示文を、別紙（第6問解答用紙）を縦長にして、縦書きで体裁よく書きなさい。

〈必ず油性または顔料系のマーカーを使用すること。〉

鉛筆で下書きをしてはいけない。定規やものさしで書いた線は消して出すこと。

					源氏物語を読む会
				と	
				き	
				六月十六日（日）	
				午前十時から十二時まで	
			と		
			ころ		
			市教育文化会館		
		講	佐藤浩一先生		
		師			
		参加費	五〇〇円		
		五〇〇円			
		主催	南区立図書館		

※ ■■■■■ の部分には、受験番号および点数の記入欄があります。



文部科学省後援書写技能審査  
令和〇年度第〇回  
硬筆書写技能検定  
令和〇年〇月〇日（日）実施

受験地番号				

受験番号				
K	1	1		

第 6 問
点

硬筆書写技能検定 第 6 問解答用紙

受験地番号は左づめに記入すること。

第7問

つぎの漢字の[A列]はいわゆる旧字体で、[B列]はいわゆる書写体です。これらの10字を、常用漢字の字体(楷書)で、下の□の中に書き入れなさい。

[A] 圖

鐵

變

逸

揭

[B] 養

密

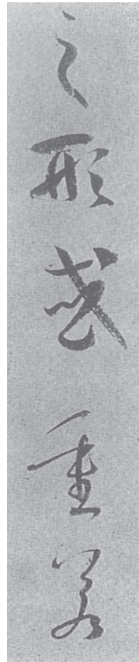
負

階

關

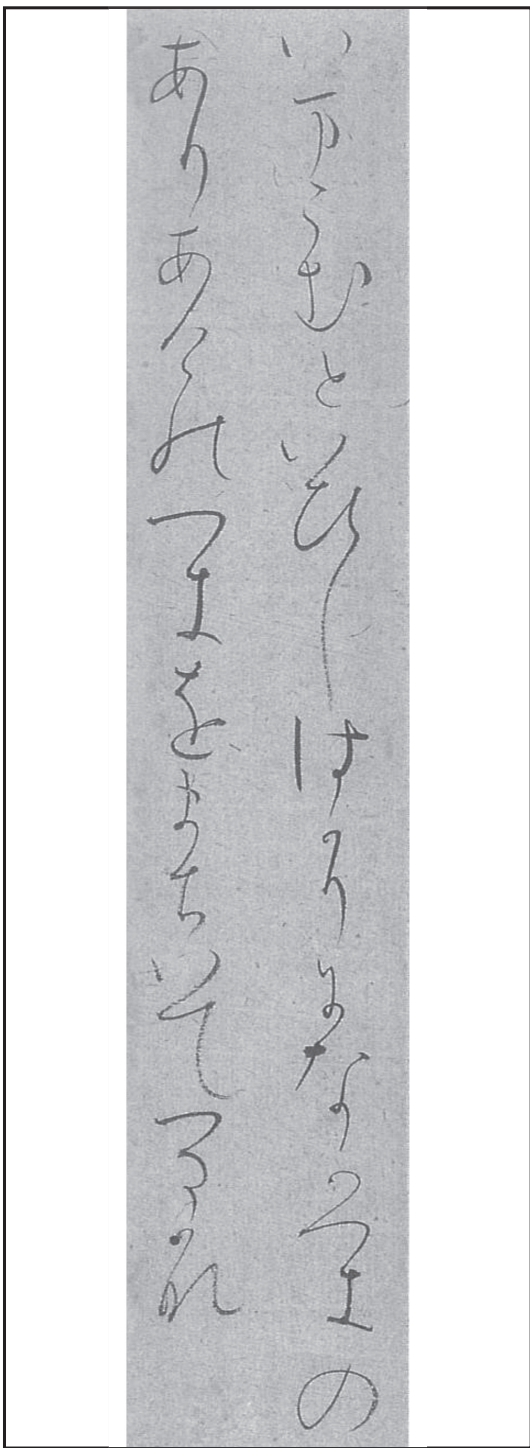
第8問

[A] つぎの草書五字を楷書で、下の□の中に書き入れなさい。(書譜)



□
□
□
□
□
□

[B] つぎの仮名について、全部の字を平仮名で、外側に書き改めなさい。(粘葉本和漢朗詠集)



第 8 問  
点

第 7 問  
点

第9問

A

つぎの1から5までの文章で、正しいと思うものには○を、誤っていると思うものには×を、下の□の中に書き入れなさい。

- 1 草書は、漢字の書体の中で最も速く書ける書体で、蘭亭序がその例である。
- 2 岩の露出している面を平らにして文字を彫り込んだものを摩崖碑という。
- 3 黒跡とは、鎌倉時代から江戸時代にかけて、特に禅宗の僧が書いた書をいう。
- 4 筆脈とは、画と画とが見えない線でつながっていることで、意脈または気脈ともいう。
- 5 平仮名の「こ」は「古」の草書が変化したものである。

B

つぎのアからオの筆者（伝承を含む）に関係のある作品名の番号を□の中に書き入れなさい。

- |         |                          |        |
|---------|--------------------------|--------|
| ア 皇甫府君碑 | <input type="checkbox"/> | 1 王羲之  |
| イ 李嶠詩   | <input type="checkbox"/> | 2 顔真卿  |
| ウ 蘭亭序   | <input type="checkbox"/> | 3 嵯峨天皇 |
| エ 争座位文稿 | <input type="checkbox"/> | 4 欧陽詢  |
| オ 楽毅論   | <input type="checkbox"/> | 5 光明皇后 |

第 9 問
点

裏面に第10問があります。

第10問

つぎに書かれた文の漢字について、常用漢字の字体から見て誤りまたは不適切な字があったら、その右に正しく書き改めなさい。全文を書き改めてはいけません。

天智天皇は、百人一首の巻頭にある歌で知られ、近江
神宮「競技かるたの聖地」としても名高い。近江勸学館
では、競技かるたの全国大会が開かれ、愛好家が集う。

第 10 問  
点